

都市大原子カシンポジウム

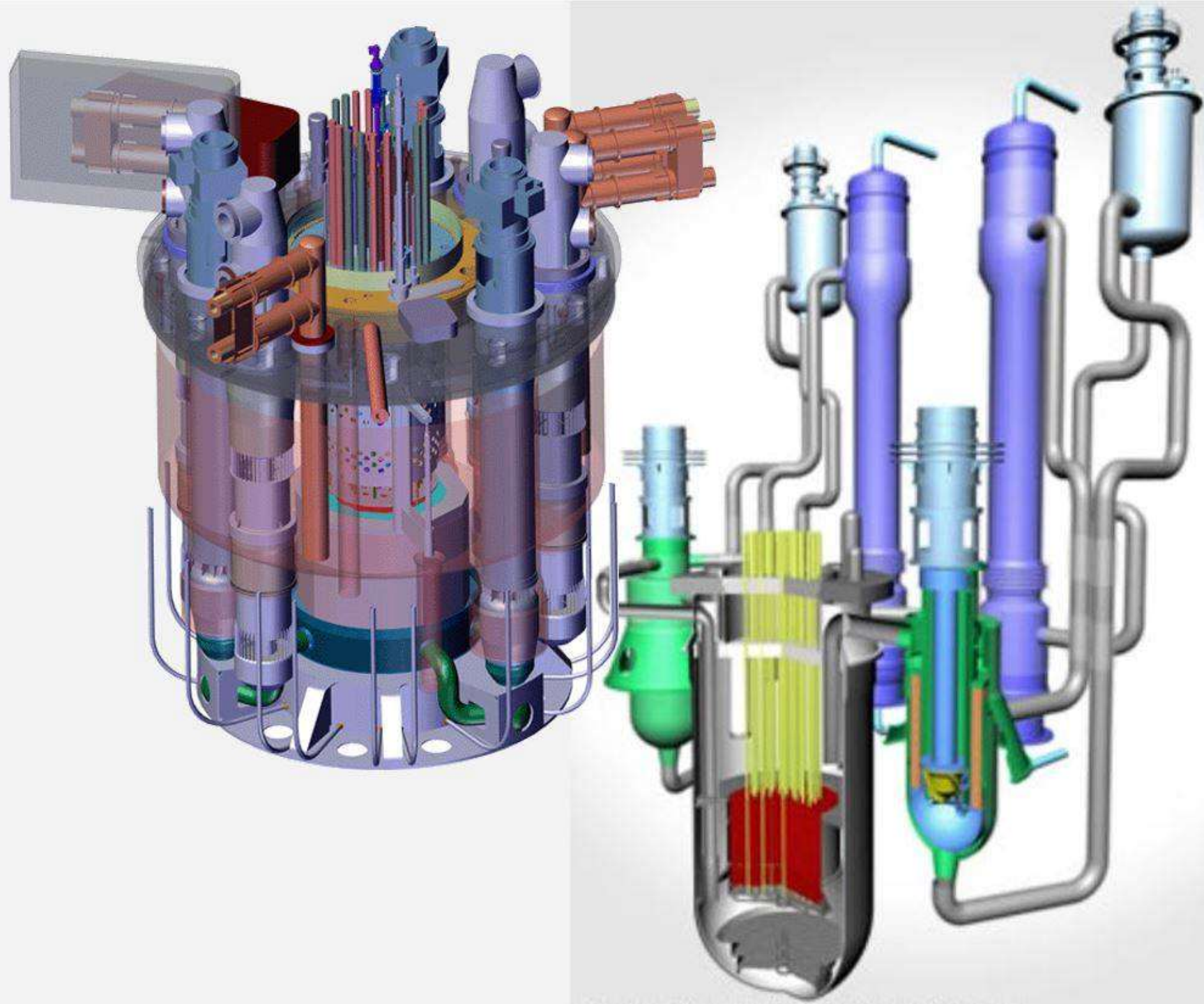
日本の 高速炉開発のゆくえ

日時： 2017年7月20日(木)

13:20-16:50

場所： 都市大世田谷キャンパス

13Q教室(1号館3階Q教室)



プログラム:

13:20-15:00 (3限)

1) 開会の挨拶

2) なぜ高速炉が必要か?

3) 日本の高速炉開発のゆくえ
休憩

15:10-16:50 (4限)

4) 高速炉と免震技術

5) 核廃棄物を燃やす高速炉燃料

6) 高速炉の事故はどのように進むのか?

7) 学生企画フリーディスカッション

「どうする? 日本の高速炉開発」(都市大 原子力安全工学科学生有志)
—自力開発? 共同開発? 他国炉導入?—

8) 閉会の挨拶

17:00-19:00

意見交換会 @都市大ラウンジオーク@1号館4階 [会費:2500円(学生500円)]

司会: 竹澤宏樹講師

(都市大 高木直行教授)

(三菱FBRシステムズ取締役 國嶋茂氏)

(JAEA特任参与 佐賀山豊氏)

30分

60分

(都市大 大鳥靖樹教授)

(都市大 佐藤勇教授)

(都市大 鈴木徹教授)

(都市大 高木直行教授)

20分

20分

20分

30分

シンポ参加申し込み状況

- 一般：50名

メーカー、研究所、シンクタンク、メディア、大学、
解析会社、建設会社、原子力関係団体、電力

- 学生：85名

都市大、早大、東海大、東工大

- 合計：145名（講師、都市大教員含む）

3限 原子炉物理学(原子力3年) 24名
地球環境科学(電気電子4年、原子力2年) 17名

4限 核反応工学(原子力2年) 34名